令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大谷場中学校】

(3月)

6	次年度への課題と改善策
知識·技能	
思考·判断·表現	
主体的に学習に取り組 む態度	
	次年度に同けて

1	目標・策			
	目 標		策	
知識·技能	・令和5年度全国学力・学習状況調査(国・数)「知識・技能」に 関する調査において、自校の平均正答率を令和4年度より2p t向上させる。	1	・全国学力・学習状況調査の結果を分析し、本校生徒の 課題を明確にし、授業改善を図る。 ・ICT機器を用いて、繰り返し知識を定着させることが できる学習環境を整える。	
思考·判断·表現	・令和5年度全国学力・学習状況調査(数)「思考・判断・表現」 に関する調査において、自校の平均正答率を令和4年度より 2pt向上させる。	\$	・各教科において、文章でまとめたり調べたことを発表したりする活動を積極的に取り入れる。課題の解決に向けて、生徒が主体的に物事を判断したり表現したりするような授業を展開する。	
主体的に学習に取り組む態度	・令和5年度さいたま市学習状況調査における「(5教科)の勉強は好きですか。」の肯定的な回答の割合を、80%以上にする。	⇒	・各教科の授業において、生徒が自分の力で取り組むことができる活動を引き続き多く取り入れ、楽しく学習に取り組めるように支援する。	

日信・東の設定(4月)

年度末評価

5	目標・策の達成状況	評価(※)	
知識・技能	調査結果分析(2月)		
思考·判断·表現	①結果分析(管理職・字年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握)		児童生徒の学力の
主体的に学習に取り組む態度	結果提供(2	月)	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

大口たま古学圏状況調本

4	さいたま市学習状況調査結果・分析
中1	
中2	
中3	

=	2 6 1 3 >	全国学力·学習状況調査結果·分析	
	知識·技能	R5年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、R4年度の自校の結果と比較し、国語+1pt、数学-3ptであった。数学では、「数と式」領域において平均正答率が74.4%と全国平均と比べて、11.4%高い結果となった。	
)	思考·判断·表現	R5年度全国学力・学習状況調査の「思考・判断・表現」において、R4年度の自校の結果と比較し、国語+6.6pt、数学+6.5ptであった。英語については、全国平均と比べて+11.7ptという結果となった。数学では、「図形」領域の証明問題において、平均正答率が54.6%と全国平均と比べて22.5%高い結果となった。	
	主体的に学習に取り組 む態度	国語、数学、英語について、「各教科の勉強は好きですか」という質問項目に肯定的に回答した生徒比が、全国平均や県公立平均と比較しても高い結果となった。	

①結果分析(管理職·学年主任等) ②詳細分析(学年·教科担当)

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)

8	目標	7/8	策
知識·技能	・令和5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」に関する調査において、自校平均正答率が令和4年度調査と同等の結果を目指す。	⇒	・ICT機器を用いて、繰り返し知識を定着させることができる学習環境を整える。 ・授業において、生徒が実際に作業したり話し合ったりする活動を多く取り入れ、各教科で必要な知識や技能を身に付けさせる。
思考·判断·表現	・令和5年度さいたま市学習状況調査「思考・判断・表現」に関する調査において、自校平均正答率が令和4年度調査と同等の結果を目指す。	⇒	・各教科において、文章でまとめたり調べたことを発表したりする活動を積極的に取り入れる。課題の解決に向けて、生徒が主体的に物事を判断したり表現したりするような授業を展開する。
主体的に学習に取り組む態度	・令和5年度さいたま市学習状況調査における「(5教科) の勉強は好きですか。」の肯定的な回答の割合を、80% 以上にする。		・1人1台端末を活用した学習を積極的に行い、生徒が意欲的に取り 組めるようにする。 ・各教科の授業において、生徒が自分の力で取り組むことができる活動を引き続き多く取り入れ、楽しく学習に取り組めるように支援する。